

五島市内4高校と、協力団体、近傍部隊等を 本部長 表敬訪問



■五島市防衛協会 会長 表敬



■五島市自衛隊家族会 会長 表敬



■隊友会下五島支部 支部長 表敬



■第15警戒隊長 表敬

令和4年1月12日(火)から13日(水)の間、長崎地本 本部長 江上昌利 1等海佐は、五島駐在員事務所(所長 納屋誠一 1等陸曹)とともに五島市内の各学校訪問等を実施した。

五島高等学校、五島海陽高等学校、五島南高等学校、奈留高等学校のそれぞれの学校長を表敬し、日頃の自衛隊の活動への理解と自衛官募集への協力に対する謝意を伝えるとともに、「総合的な学習の時間」における防災講話等の提



■五島南高校 表敬



■五島海陽高校 表敬

案及び進路指導における説明会への協力などについて説明を行い、長崎地本が行っている学校への活動内容の理解を図った。

また、五島市の協力団体である五島市防衛協会会長(五島市長野口市太郎 様)、五島市自衛隊家族会会長(清水大基 様)隊友会下五島支部支部長(鳥山清治 様)を表敬し、平素からの自衛隊への理解に対する感謝を伝え、自衛官募集への今後とも変わらぬ協力をお願いした。加えて、五島市に所在する航空自衛隊第15警戒隊長兼福江島分屯基地司令(高島展彰 2等空佐)を表敬し、自衛官の自主募集及び学校への防災講話等に当たっての部隊支援の協力を依頼した。

五島駐在員事務所は今後も一人でも多くの志願者獲得を目指し、学校、協力団体、近傍部隊等と連携し募集広報活動に尽力していく。

(五島駐在員事務所)



発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

陸自の中核を担う高等工科学校(生徒)1次試験始まる!!



■試験会場:大村農協会館



■試験会場:島原文化会館

長崎地本(本部長 江上昌利 1等海佐)は、令和4年1月22日(土)に陸上自衛隊高等工科学校(生徒)の1次試験を、離島を含む県内8ヶ所で行い、県内の15歳以上17歳未満の男子68名が受験した。

自衛隊生徒制度は、昭和30年に開始され、現在では、陸上自衛隊高等工科学校へと改編されている。これまで2万名弱の卒業生が自衛隊の中核として幅広い分野で活躍しており、中には、防衛大学校へ進学し幹部自衛官として活躍している者や航空学生へ進みパイロットとして活躍している者もいる。就学年数は3年間であり、この間の身分は特別職国家公務員(生徒)として扱われ、毎月の生徒手当や年2回の期末手当が支給される。

また、3学年修了時に、連携する通信制高等学校(神奈川県立横浜修悠館高等学校)の卒業資格を取得できる。1次試験は筆記試験(5教科)及び作文試験が実施され、受験者は時間内において持てる全ての力を発揮して試験に挑み、試験終了後は「やっと終わった」と安堵の表情を浮かべていた。

毎年、長崎県からも数名がこの陸上自衛隊高等工科学校に入校していることから、本年度も大いに入校の期待が寄せられている。

長崎地本としても、今後、更なる志願者の増大に努めるとともに、多くの入校者が出てくれることを期待し、日夜、募集活動に全力で取り組んで参ります。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。(募集課)

国家を守る、
公務員。
自衛官募集中



令和4年2月22日(火)に長崎地本の公式ホームページを全面リニューアルしました。今回のリニューアルにより、長崎地本に関する情報はじめ募集案内やイベント情報などに改善しました。

これからも引き続き皆様のお役に立てるような情報発信に努めてまいりますので、本ホームページを今後ともご愛顧賜りますようお願いいたします。(募集課)

公式ホームページ
リニューアル

その決断は遅くない

095-826-8844

陸上自衛隊とは 海上自衛隊とは 航空自衛隊とは 長崎地本について

未来の自衛官

おめでとう！ 合格者の声



航空自衛隊 航空学生合格

長崎県立長崎北高校3年

出口 旭



この度、航空自衛隊航空学生を受験し合格することができました。航空自衛隊のパイロットになることが幼い頃から私の夢だったので、スタートラインに立つことができたことを大変嬉しく思います。

私は、小学校の頃に自衛隊好きの友人に影響され、将来航空自衛隊のパイロットを目指していました。航空学生については、中学生の時に長崎募集案内所の広報官の方から詳しく教えてもらい、パイロットになるには航空学生制度が最短で叶えることができるということを知りました。

入隊したら、今まで支えてくれた人達に恩返しができるように何事にも一生懸命取り組み、パイロットになれるよう頑張ります。また、入隊までの時間を有効に活用し、体調管理に気をつけながら出来る限りの準備をしたいと思えます。

防衛大学校 推薦合格

北九州予備校

神崎 竜之介



この度、防衛大学校推薦入試を受験し合格することができました。今年が2度目の試験となり、昨年の雪辱を果たすことができ大変嬉しく思っています。

高校入学と同時に防衛大学校への進学を心に決めており現役では失敗したが諦めきれず浪人し無事、入学へのキップを掴み取ることができました。それも地本の方々忙しい合間を縫って説明や面接練習など手厚くしてくださったおかげだと感じています。

これまで支えて下さった全ての方々への感謝の意を込めて立派な幹部自衛官になるために理想の将来像を思い浮かべながら日々の厳しい生活を乗り越えていきたいと思えます。

防衛大学校 総合選抜合格

長崎県立大村高校3年

田中 偉吹

この度、防衛大学校を受験し合格することができました。自衛隊を率いるリーダーとしての資質を磨くため頑張ろうと思えます。

私は伯父さんが幹部自衛官であること、そしてニュースなどで活躍される自衛官の方々に感銘を受け、中学2年生頃から将来自衛官になることを目指してきました。そして

防衛大学校 総合選抜合格

長崎県立佐世保北高校3年

藤本 一熙



私が防衛大学校を志したきっかけは、身近な人に自衛官の方がいたことです。私の周りの人と自衛官について話したことがありますが、ほとんどの人はその存在があるということ以上の知識を持ち得ていませんでした。その知識の差が私のきっかけです。

更に私は、災害時の自衛官の方々の働きや身近な方からの自衛官の活躍を聞くことにより、自分もそのような職業に就くことに憧れたのが、防衛大学校を志願することへと繋がりました。

私は防衛大学校に入校した後は、その生活を自分の好きな学部や自衛隊に入れるように意識して生活する事を心掛けようと考えています。そして自らも誇れる自衛官になれるよう精進します。

自衛隊を率いる幹部自衛官を目指そうと考えました。今は「あおざくら」※を読んでどの様な生活を送るのか想像しながら準備をしています。実際はより厳しくなると思うので覚悟して行きたいと思えます。

※「あおざくら」は

あおざくら防衛大学校物語

二階堂ヒカル著

「週刊少年サンデー（小学館）」

定年退職

永年のご活躍、お疲れ様でした!



2月28日付退官
長崎援護センター
3等陸佐
藤尾 伸吾



2月16日付退官
諫早地域事務所
1等陸尉
横山 道男



2月10日付退官
総務課 管理班
准陸尉
小浦 良和

令和4年度「長崎地本だより」の発行について

平素は自衛隊長崎地方協力本部に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

「長崎地本だより」につきましては、これまで白黒印刷（新年号を除く）で毎月発行してまいりましたが、令和4年度からはカラー印刷に変更し、より鮮明な紙面といたします。

なお、経費の都合により1年間における発行回数は4回となります。ご容赦いただければ幸いです。

自衛隊長崎地方協力本部

本部長 1等海佐 江上昌利

発行時期 / 5月、9月、11月、1月